

2020年12月15日に「けいはんなR&Dイノベーションフォーラム2020」を「第11回けいはんな学研都市先端シーズフォーラム」と合同で、リモート形式で開催しました。

今回のフォーラムは、

「コロナ後の世界に向けて ～DXと持続的成長に向けたデータ利活用～」
をテーマとして実施いたしました。

● 12月15日（火） 13時00分～16時45分

Zoom Webinarによるオンライン開催

(Youtube ストリーミング配信)

主催：公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

共催：公益社団法人関西経済連合会、関西広域連合

後援：国立国会図書館、京都府、大阪府、奈良県

公益財団法人国際高等研究所

参加アクセス数 103名 ※Youtube 視聴者 10名を含む

(参加登録者 149名 一般、企業、大学・研究機関、公的機関等)



【 けいはんなR&Dイノベーションフォーラム2020・第11回先端シーズフォーラム 次第】

13:00-13:05	開会挨拶
13:05-13:15	コンソーシアム活動状況について ーけいはんな公道走行実証実験プラットフォーム 他ー 関西文化学術研究都市推進機構 RDMM 支援センター長 重松千昭
13:15-14:25	Session_1;DX overview 『DXの開花に向けた情報通信基盤の整備について』 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部長 今川拓郎 氏
14:25-15:00	Session_2;WGからの成果(DX時代のライフスタイル) 遠隔フィットネス事業 株式会社ピノスけいはんな支配人 喜多一也 氏 ニューノーマルに対応した新たな移動サービス WILLER 株式会社 MssS R&D BU マネージャー 池あい子 氏
15:00-16:10	Session_3;DX 最前線_コロナ禍脱出に向けたデータ利活用事例 『AI・シミュレーションが拓く創薬・医療の未来』 京都大学大学院医学研究科ビッグデータ医科学分野教授 奥野恭史 氏
16:10-	閉会御礼 関西文化学術研究都市推進機構 RDMM 支援センター長 重松千昭

フォーラムでは、会員及び一般の方々を含め参加者(視聴者)は 103 名であった。冒頭において、重松 RDMM 支援センター長よりコンソーシアム活動とその成果に関する一般向けの紹介が行われた後、「コロナ後の世界に向けて～DX と持続的成長に向けたデータ利活用～」をテーマに 2 名の講師から講演をいただくともに、WG からの成果として 2 事例が紹介された。

講演【session: 1】

『DX の開花に向けた情報通信基盤の整備について』

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部長 今川拓郎 氏



総務省総合通信基盤局電気通信事業部長 今川拓郎 氏からは、ポストコロナ時代の新しい生活様式として、遠隔診療、テレワーク(大企業では、55%が実施)、オンライン帰省等が定着するとともに、20～30 代の若い世代では、ワーケーションという視点から 20%を超える方が地方移住に関心を持っていること、道路旅客運送、飲食業等の企業の 70%超で売上げが減少し、60%の企業が、DX 推進によるビジネスモデルの変革に取り組むこととしており、行政においても、デジタルガバメントに向け「デジタル庁」設置に取り組んでいること等、興味深い話を聞くことができた。また、オンライン授業における私立校と公立校における教育格差や指紋認証(生体認証)におけるセキュリティ確保について、質疑応答が行われた。

講演【session: 3】

DX 最前線 コロナ禍脱出に向けたデータ利活用事例
『AI・シミュレーションが拓く創薬・医療の未来』

京都大学大学院医学研究科

ビッグデータ医科学分野教授 奥野恭史 氏



京都大学大学院医学研究科 ビッグデータ医科学分野教授 奥野 恭史 氏からは、ライフサイエンス系企業と IT 系企業を仲介し、非競争領域でプロトタイプの医薬品開発を行うため、2016 年 11 月に、参加費無料の「産学 AI コンソーシアム」を設立し、2017 年 7 月から、AI を使った開発を開始。現在では、129 団体 600 名が参画する世界最大のライフインテリジェンスコンソーシアムとなったことや、医薬品開発においては、25,000 分の 1 と成功確率が極めて低いことから、開発に当たっては、参画する各社で役割分担し 30 もの AI を使って並行して開発する等、オープンイノベーションなくしては、AI 産業革命の中では生き残れないということ等を伺った。AI では、日本は諸外国に遅れをとっているが、日本の強みは臨床での医療技術はレベルが高く、今後は、AI との協働に努めて行くことが大切であること、また AI スキルの習得に際しての大事なポイントについても、質疑応答の中で述べられた。